

# 河上肇『貧乏物語』 刊行100年記念 市民講演会

2017年10月21日(土)  
午後2時～4時45分(開場1時45分)  
京大時計台ホールⅢ(2階)

## 【プログラム】

- ◇講演 伍賀一道氏(金沢大学名誉教授)  
現代日本の非正規雇用と格差貧困
- ◇報告1 八木紀一郎氏(京都大学名誉教授、摂南大学学長)  
河上肇の経済思想と『貧乏物語』
- ◇報告2 小久保哲郎氏(弁護士、生活保護問題対策全国会議 事務局長)  
生活保護引き下げ違憲訴訟と現代の貧困
- ◇パネルディスカッション

今年、河上肇『貧乏物語』刊行100年です。この本は、啄木が「はたらけどはたらけどなおわが生活(くらし) 楽にならざり じっと手を見る」と詠んだ数年後に出版されました。河上はこの歌を引いて、貧乏は「20世紀における社会の大病だ」と述べています。そのときから1世紀を経た今の日本も「驚くべきは現時の文明国における多数人の貧乏である」と言わなければならない状況があります。戦前の日本を代表する経済学者の名著に思いを馳せて、現代の貧乏を語り、この世から貧乏を根治する道筋を考えるために、市民講演会を開催します。ふるってご参加ください。



資料代 500円  
予約不要

主催：河上肇記念会  
連絡先：京都市左京区田中玄京町76  
山本正志方  
電話・FAX：075-702-6705